

1 島田市の認知症施策について

(第9次島田市高齢者保健福祉計画：概要版 P7, 8 参照)

基本目標 1 自立した生活の継続と健康寿命の延伸
基本施策 1 介護予防の推進

予防

(1) パワーリハビリ教室事業

要介護認定を受けていない高齢者を対象に、機器を用いた低負荷のトレーニングを行う機会を提供し、運動機能の向上を図ります。教室の指導はシニアトレーニング指導員養成講座等を修了した島田市シニアサポーター協議会会員が行います。

プラザおおるり、夢づくり会館（金谷）、エルフのゆめ（六合）と3会場で行っています。

令和2年度実績 開催回数 196回

参加者（実）人数	74	サポーター（実）人数	96
参加者（延べ）人数	890	サポーター（延べ）人数	827

(5) 脳の健康度テスト

認知症に関する講義、脳の健康度テスト、テスト結果に基づく日常生活の注意点の説明を行い、受講者の認知症予防を図ります。

年6回 定例開催 他ふれあいしまだ塾の講座としても実施

令和2年度実績 9回実施 参加者：84人

基本施策 2 生きがいつくりと社会参加の促進

(14) しまトレ支援事業

身近な集会所等で住民が主体となって取り組む介護予防に効果的な体操「しまトレ」を実践する場を増やし、高齢者が身近な場所で介護予防に取り組むことができるよう、支援します。

(15) 居場所づくり事業

高齢者が身近な集会所に気軽に集まり交流できるよう、“誰でもいつでも自由に”立ち寄ることのできる「居場所」の整備を支援します。

(16) 地域ふれあい事業

地域のボランティアスタッフの運営により、身近な集会所等で体操やゲームなどを楽しみ、高齢者の閉じこもりを予防します。

活動が継続できるように支援をしていきます。

	しまトレ	居場所	地域ふれあい
箇所数 (令和2年度末)	86	68	56

基本目標 2 地域で過ごしやすい生活支援体制の整備

基本施策 3 介護家族への支援

生活支援

(57) 認知症家族会

認知症の方を介護する家族に対して、勉強会や認知症介護を経験した家族等との情報交換の場を設けることにより、介護者の気分転換、介護負担感の軽減を図ります。

月1回実施予定

令和2年度実績 年10回 参加者実人数：28人、延べ人数：62人

基本目標 3 安全・安心に暮らせる環境整備の推進

基本施策 2 安全・安心な生活基盤の整備

住まい

(72) 認知症サポーター養成事業

認知症についての理解を深め、認知症の方や介護している家族を温かく見守る「認知症サポーター」を増やすため、一般市民、小学生、中学生、事業所の従業員などを対象に、認知症についての知識や接し方についての講座を開催します。

年度	平成30年	令和元年度	令和2年度
実績(人)	1723	1268	569

(74) 成年後見制度利用支援事業

認知症等により判断能力が不十分となった高齢者の権利や財産を守るため、成年後見制度の普及に努めます。

制度利用に関する支援や成年後見人への報酬等を負担することが困難な高齢者に対して費用の助成を行います。

年度	平成 30 年	令和元年度	令和 2 年度
市町申立て件数	1	2	3
報酬等助成件数	12	13	16

基本目標 4 連携体制の強化による医療と介護の推進
 基本政策 3 認知症対策

医療等

(90) 認知症地域支援・ケア向上事業

市や地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症への理解を深めるための知識の普及や啓発を行うとともに、認知症の方や家族などの介護者の相談に対応し、また、医療機関や介護サービス事業所及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割を担います。

「認知症カフェ」の活動が充実し、認知症の方やその家族などの介護者と地域に住む人や専門職と情報を共有し合う場となるように、関係者の連携強化を図ります。

各地域包括支援センターで認知症の取り組みを行う、チームオレンジの活動を支援していきます。

◇認知症地域支援推進員の配置（市と地域包括支援センターに配置） 8名
 連絡会を定期開催し、推進員間で活動の共有と方向性を検討していきます。

◇認知症カフェ 7箇所（令和3年4月現在）

◇チームオレンジ 7箇所に設置（令和3年4月現在）

【チームオレンジの補足説明】

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症を理解し支援できる地域づくりを行う。

認知症サポーター等を中心に支援チームを作り、認知症の方とその家族を支援する体制。

メンバーの誰もが楽しみながら役割を果たし、引きこもりがちな生活になることを未然に防ぐ取り組みとなるように工夫をする。

認知症サポーターの近隣チームによる認知症の人への早期からの継続支援とともに

- ・ 認知症の人や家族を含む地域の高齢者が気軽に集い、活動する
- ・ シニア世代の介護予防
- ・ 認知症への理解の進化
- ・ 早期発見、早期支援としてのつなぎ
- ・ 専門機関へのつなぎ
- ・ 子どもも含めた多世代交流 に寄与することが期待されます。

運営の詳細などの取り決めは地域の特性を勘案し、各々のチームで話し合っ活動を展開していきます。
 ＊ 認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き P14 からの抜粋

◇**チームオレンジ連絡会**を令和3年度に計画していきます。

(1：キャラバンメイト養成講座、2：認知症サポーターステップアップ研修、3：チームオレンジ連絡会を3年間で順番に開催をしていきます。)

◇**講演会・キャンペーンの実施**

VR 認知症体験会 9月4日実施

9月の世界アルツハイマー月間に合わせて、広報しまだへ掲載、FMしまだで周知をしていきます。

(91) 認知症対策検討委員会

認知症の方の増加が見込まれることを踏まえ、関係機関の連携を強化するとともに、認知症の方や家族などの介護者の支援、認知症予防、見守り体制の強化等の認知症施策について具体的に検討します。

年に2回開催

(92) 認知症初期集中支援チーム

地域包括支援センターごとに「認知症初期集中支援チーム」を設置し、かかりつけ医や認知症の専門医と連携を図りながら、認知症の方や家族などの介護者に関わり、早期診断・早期対応による効果的な支援を行います。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談実件数	9	10	7
会議開催数	15	12	13

(93) 認知症高齢者見守り事業

◇みまもりあいプロジェクト

スマートフォン向け専用アプリ「みまもりあい」と身元確認用のステッカー「みまもりあいステッカー」を活用し、万が一方向不明となった場合に家族がアプリから検索依頼を配信し、近隣の協力者が検索します。

みまもりあいシステムの利用開始のために支払う入会金を補助します。

協力者数

1412人（令和2年度末）

◇徘徊高齢者等事前登録事業 * 令和2年度新規事業

事前に市に認知症高齢者の情報や写真を登録し、警察や地域包括支援センターと共有することで、方向不明となった場合に、速やかな発見・保護につなげます。

事前登録者数 20人（令和2年度末現在）

◇認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 * 令和2年度新規事業

徘徊高齢者等事前登録事業の登録者が日常生活の偶然な事故により、法律上の損害賠償を負担する場合にそなえ、市が個人賠償責任保険の保険料を負担します。

利用者数 22人（令和2年度）

2 認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）

具体的な施策の5つの柱

1. 普及啓発・本人発信支援
2. 予防
3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援
5. 研究開発・産業促進・国際展開

1の本人発信支援について、認知症本人の視点・本人・家族の意向重視とされているが、本人の意向を聞き、どこまでどのように反映させていけば良いのかと認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている姿等の積極的な発信の方法が、今後の課題であると感じている。

3 新型コロナウイルスの対応

【市の取り組み】

1. 新型コロナワクチン予防接種について

65歳以上の方の新型コロナワクチン接種率

1回目接種完了率/74.36%（23,660人/31,818人中）

2回目接種完了率/52.55%（16,719人/31,818人中）

* 令和3年7月5日時点（市ホームページ掲載）

（1）ワクチン接種のスケジュールについて

医療従事者、高齢者、基礎疾患のある方、高齢者施設の従事者の順番

64歳以下のスケジュールは別紙添付

(2) 接種体制について

- ① 個別接種（市内の医療機関と島田市立総合医療センター）
- ② 集団接種（夢づくり会館・ローズアリーナ・看護専門学校体育館）

(3) 高齢者に対する移動困難者ワクチン接種支援事業の実施

- ① ケアマネジャーに予防接種の予約、タクシー手配、介護者手配のコーディネートを委託
- ② タクシー業者と委託契約
- ③ ヘルパー業者と委託契約

2. 通いの場への支援について

手指消毒液の配布、被接触型体温計の貸与
体操のDVD（しまトレ、介護予防体操）の貸し出し

3. 現状の課題について

- (1) コロナに罹った方が治癒したにも関わらず、通いの場へ参加しようとする拒否される風潮。（誹謗・中傷がある）
- (2) 通いの場の開催について、3密を避けて行っている場所もあるが、長期的に休んでいる場所もある。
- (3) 感染を恐れて外出を控えている高齢者の認知機能・身体機能低下の予防はできているのか。